

めぐみの森だより 2024年 8月号

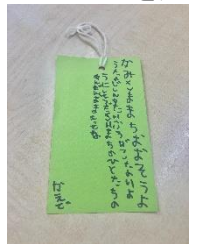


社会福祉法人 雲柱社 めぐみの森保育園 ☎ 03-3480-4448

7/5(金)『年長の夕べ』を無事に執り行うことができました。当日は、6月末で転園したAさんも特別参加してくれ、子どもたちは数日振りの再開を喜んでおりました。夕食はレジャーシートを敷き、調理室で作ったご飯をお弁当箱に詰め、ゆり組で食べました。お弁当を取りに来る際、子どもたちはとても興奮気味だったので、「3つあるからあげ、1つ落としたらどうなる?」「2つになっちゃう」「1つ減るのは悲しいね。」と伝えると、とても慎重に大事そうにお弁当を運び、誰も落とすことなく「いただきます」をすることができました。



先月は七夕がありましたね。短い期間でしたが、玄関に笹を飾り、短冊に願いを込めて飾りました。毎年、子どもたちが書いてくれる短冊をこっそり読むのが、密かな楽しみになっています。今年も、『〇〇がたくさん食べたい』『〇〇がうまくなりたい』という可愛い願い事の中に、『かみさま、まちおおそよなじしんやたいふうが、こないようになしてください。まちのひとたちのあんぜんおまもってね』とこんな願いごとが書かれていました。書いてくれたのは5歳児クラスのAさん、夕方保護者の方が迎えに来た際、時間をかけて丁寧に書いていたと主任から教えてもらいました。保育園の日常生活では、食事の前にお祈りをしています。また、3、4、5歳児クラスになった際には、月に1回程度お話し会として、聖書のお話を聞く機会を設けております。どちらもやらなければならないもの、聞かなければならないことではなく、大人の思いを短くてもいいから、言葉で繰り返し伝えていこうと取り組んでいます。今回の短冊への願いも、こうして日々繰り返していたことが少しでも伝わっていたのかなと嬉しくなりました。



私たち人間は、多かれ少なかれ人よりも少しでも損をせず得をしたいと願ってしまう欲深いところがあります。上手くいったことは、自分の力で成し遂げた。自分に起きた不都合は、何で私だけこんな思いをしなければならないのか、と周りに当たってしまうことがあります。聖書には、「わたしの願い通りではなく、御心のままに」という箇所があり、この身に起きているすべてのことが、神さまに委ねられているという解釈があります。また、日本語には「おかげさまで」という言葉もあります。どちらも自分本位の考え方ではないところが素敵な考え方ですね。今回Aさんが願ったことも、自分への願いではなく、他人を思っている願いが書かれていたことに感嘆し、Aさんが願ったように自分本位ではなく、相手を思いやることのできる日々を過ごしていきたいと改めて思いました。

記:園長 藤本 紘子

《今月のおすすめ紹介》



暑い日が続きますね。東京が暑すぎるため、休みの日は海を求め千葉や神奈川に出掛け、暑さをしのいでいます。そんなところに出掛ける際も、毎日の出勤も、靴下を履くのも暑いので、『ワラーチ』という自作のサンダルを履いています。自作と言っても、代々木公園で行われた『アースガーデン』のワークショップで作った物です。ほぼ裸足に近いので、周りから見ると、「そんなので歩いて足痛くないの?」という見た目ですが、ワラーチを履くと歩きやすく、他にもサンダルを持っていますが、何故かワラーチを選んでしまいます。さすがに自作のワラーチはハードルが高いので、『LUNA SANDALS』というブランドのサンダルもおすすめです。最近、玄関でそのサンダルを見かけるので、保護者の方でもどなたか愛用しているようです。まだまだしばらく暑い日が続きますが、熱中症には十分気をつけて過ごしましょうね。



[【公式】LUNA SANDALS \(ルナサンダル\) | ベアフット・ランニングのパイオニア \(lunasandals.jp.com\)](https://lunasandals.jp.com)